

成人おめでとう

平成31年行方市成人式

大人への第一歩を踏み出した369人の新成人たち

平成31年行方市成人式が1月13日(日)、市文化会館で晴れやかに開かれました。

今年の新成人は、平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた市内在住者および市内出身者369人(男性186人、女性183人)です。

晴れ着に身を包んだ新成人たちは、久しぶりに会う恩師や友人と写真を取り合ったり、近況を語り合ったりと、会場はたくさん笑顔であふれました。

式典の企画・進行は、新成人で構成する実行委員会(14人)が中心となって行いました。また、今年も「成人式に係る社会貢献活動」として、国内と国外に目を向けた二つの社会貢献活動を実施しました(活動報告は5ページをご覧ください)。

式典で、市長からは「自分のことだけを考えるのではなく、広く世の中に目を向け、人との出会いや社会とのつながりを大切に、信念を持って人生を歩んでいただくことを願っています。これからの人生が幸福で満ちあふれたものとなりますように」とお祝いの言葉がありました。

式典後のアトラクションでは、実行委員会が制作した恩師からのお祝いメッセージの映像や中学時代の思い出の写真が映されたり、新成人から恩師へのインタビューが行われたりと、会場は大いに盛り上がりました。



▲記念品贈呈 市長から新成人代表 山崎達也さんへ



▲成人者代表謝辞 成人式実行委員長 箕輪美和さん

平成31年成人式実行委員

※順不同、敬称略

箕輪美和 高塚周 森作悠加 草野遥 箕輪彬
杉山奏絵 菅谷涼香 石崎浩太郎 横瀬太紀 伊奈佐耶
横瀬結衣 岡見浩樹 田中彩加 山崎達也

こんなことがありました。みんなが生まれた20年前。

平成10(1998)年→平成11(1999)年



- ▶明石海峡大橋が開通。全長 3911m で世界最長のつり橋 (平成 10 年 4 月)
- ▶第 16 回サッカー W 杯フランス大会に日本が初出場 (平成 10 年 6 月)
- ▶横浜ベイスターズが 38 年ぶりに日本一 (平成 10 年 10 月)
- ▶流行語…「キレル」「だっちゅーの」「ハマの大魔神」「環境ホルモン」など
- ▶ベストセラー…「大河の一滴」(五木寛之)、「ももこの話」(さくらももこ)、「小さいことにくよくよするな!」(リチャード・カールソン) など
- ▶映画…「踊る大捜査線 THE MOVIE」「ポケットモンスター ミュウツーの逆襲」「ドラえもん のび太の南海大冒険」「ディープ・インパクト」など
- ▶ヒット曲…「誘惑」(GLAY)、「全部だきしめて/青の時代」(KinKi Kids) など



①後ろ姿もとてもすてきですね。②なめがたエリアテレビでは、新成人にインタビューを行いました。③④⑧⑩会場の様子。⑤⑦⑨久しぶりに会った旧友とパチリ。⑥⑩式典後のアトラクションでは、中学生時代の懐かしい映像が上映され、盛り上がりました。お世話になった恩師への質問タイムでは、当時の思い出話に先生方もニコリ。⑦式典の司会進行役の2人。⑧⑨⑫受付は、成人式実行委員と一緒に行方市高校生会のメンバーも協力してくれました。

♥ 新成人の「夢」や「思い」を聞きました ♥



二十歳の夢 ♥





成人者代表発表 - 成人を迎えて -



横瀬結衣さん

本日、成人式という人生の節目。大人としての門出を迎えることができました。温かくも厳しく、私を支えてくれた家族をはじめ、協力し助け合い、時にはぶつかり合い、お互いを高め合ってきた学友や、見守り、いろいろなと指導していただいた恩師や地域の皆さまのおかげで今の私があることと、この場所に立って皆さまにごあいさつできることに深く感謝し、新成人一同を代表しまして、心よりお礼申し上げます。

今、私は管理栄養士を目指し、大学で専門的な知識を学び、勉学に励んでいます。管理栄養士を目指すきっかけになったのは、普段から食えることが好きということ。そして、中学時代に参加した「お弁当コンクール」での経験でした。体に良く、冷めてもおいしいお弁当。それを作ることがどれだけ大変か、私は未熟ながらに感じていました。また、食物の一つ一つに含まれる栄養分の多さに驚きま

した。いつも何気なく済ませている食事の大切さに触れることのできた経験。その時、友と一緒に学べて、作れて、本当に良かった。それからの生活では、食事にも気を配り、それをしっかり自分の知識にしたいと思いい、管理栄養士を目指すことを選びました。

一人で食事をすることを「孤食」といいます。孤食によって考えられる悪影響は、調理意欲の低下、栄養バランスの乱れ、ふれあいの欠如だと大学で学びました。それを避けるべく、食生活改善のできる管理栄養士になりたいです。そして、これからぶつかる国家試験や就職活動等の大きな壁。未熟者ですが、未熟者だからこそ間違いながら、これからもお世話になる家族や、同じ志をもつ仲間、同郷の友人、お世話になった恩師の方々に相談し、笑い、助け合い、自分の道を歩んでいこうと思います。

最後に、私は今までたくさんの方々にお世話になりましたが、気恥ずかしく、感謝の気持ちをうまく伝えられませんでした。で過ごし、やるせなさを感じていました。しかし、今日という日を迎え、気持ちを新たに自分の素直な気持ちを行動と言葉で表現し、すてきな大人になりたいと思います。

私たちが今日の日を迎えることができたのは、家族や先生、地域の方々の支えがあったからです。

成人式実行委員会では、今までお世話になった家族や地域の方々への感謝の気持ちを、これから社会に還元していくという決意として、何か形に表すことはできないかと話し合い、二つの社会貢献活動を実施することにしました。

まず、国内に目を向けた活動として、被災地へ義援金を送る活動に取り組みました。昨年は、7月の西日本豪雨災害や9月の北海道胆振東部地震など、多くの自然災害に見舞われた一年でした。これらの災害で被災された方々を支援するための募金活動を行い、日本赤十字社茨城県支部行方市地区を通して被災地へ義援金を送る予定です。なお、募金箱は実行委員が協力して手作りしたものです。



賞輪 杉さん

また、世界に目を向けた活動として、ペットボトルキャップを回収し、感染症から子どもたちの命を守る子どもワクチン支援活動を併せて行うことにしました。私たちは、あらゆる面で恵まれてここまで成長することができました。しかし世界中では、20秒に一人の子どもが、ワクチンがないために命を落としていると聞きます。

この活動は、株式会社カスミのリサイクル活動を利用していただきます。リサイクル資源として売られた際の売却益を「世界の子どもたちにワクチンを日本委員会」に寄付し、ユニセフと連携して支援国の子どもたちへワクチンを送ります。1月12日現在で約80キロのペットボトルキャップが集まりました。これはポリオワクチン約43人分になります。私たちの活動で、未来ある小さな命を救うことができるのです。

これらの活動を通して、一人の力は小さくても、みんなで協力すれば大きな力になることを学びました。ご協力くださった皆さまに感謝を申し上げます。社会貢献活動の報告とさせていただきます。ありがとうございました。